

第23回 Tonomachi Cafe



アカデミアシーズを 社会へ届ける知見とは？

開催日 令和元年11月29日（金）

時間 18:00～20:15（受付開始17:40）

講師 小久保謙一氏

北里大学医療衛生学部 准教授

長年、可搬型人工腎臓などの研究開発、アカデミア発のシーズを社会実装に繋げるための取り組みを続けられている小久保准教授に、海外展開も含めた自らの経験などを語っていただきます。また富士通研究所の交流ツール『Buddyup!』の試験導入も行います。

会場 川崎市キングスカイフロントマネジメントセンター
川崎市川崎区殿町3-25-10
ResearchGateBuildingTONOMACHI II-1A

参加費 500円（当日払い、飲み物付き）

定員 30名

申込先 川崎市臨海部国際戦略本部国際戦略推進部
以下のURLまたは右下のQRコードを読み込み
<https://tonomachi.info/cafe/23th-20191129/>
お申込締め切り 令和元年11月27日（水）

「タグ付け」交流ツール

Buddyup!

試験導入



アカデミアシーズの新しい治療法および治療装置の実用化を目指した研究開発から見てきたもの ～ガス吸入治療や可搬型人工腎臓を例に～

アカデミアが見出した研究成果と医薬・医療技術の実用化の間には大きなギャップがある。そこを埋めてイノベーティブな技術を社会実装するために、現在、大学発ベンチャーへの支援プログラム、起業家の育成講座、エコシステムの構築といった取り組みがなされている。そういった中、我々もアカデミアシーズの新しい治療法や治療装置の実用化を目指した研究開発を進めてきた。本講演では、特にここ10年ほどで、大きく研究開発が進化したガス吸入治療と可搬型人工腎臓を例に、開発の経緯や現在の状況、またそれらの研究開発を通して見てきたものをお話したい。

講師経歴：小久保 謙一（こくぼ・けんいち）氏

北里大学医療衛生学部 准教授

早稲田大学理工学部応用化科卒、早稲田大学大学院理工学研究科修了（工学博士）、新潟大学自然科学研究科助手、北里大学医療衛生学部講師を経て現職。人工腎臓（血液透析）、人工肺などの物質移動を伴う人工臓器および生命維持装置の研究開発、食品の膜分離技術開発などに従事。それらの研究成果を社会実装するための取り組みも行っている。

企業紹介・紹介内容

「タグ付け」交流ツール「Buddyup!」の試験導入について

今年度の Tonomachi Cafe では、講師や参加者同士の活発な意見交換や繋がりを更に加速させる取組として、富士通研究所で開発中の「タグ付け」交流ツール「Buddyup!」を試験導入します。本ツールは自分や他人を「タグ付け」することでイベント時やイベント後の「人と人の繋がり」を助けるツールとなっています。この新たな交流ツールの実証実験を研究開発拠点であるキングスカイフロントで行います。ご理解・ご協力の程よろしくお祈いします。

講師経歴：角岡 幹篤（すみおか・もとし）氏

株式会社富士通研究所。一般社団法人 ONE JAPAN RM 理事。イノベーションにつながるコミュニティの形成に関する研究に従事。ハッカソンなどの主催を通じて5年間で120以上のチームとプロトタイプを実際に生み出してきた。現在、このようなイノベーティブなコミュニティを無数に誕生させることを目指し、得られた知見をデジタルサービスとして提供する研究開発を行っている（Buddyup、ロボット幹事、3000projects）。

プログラム（予定）／アクセス

17:40 受付開始 / 18:00 開始	19:30 - 19:45 質疑応答
18:00 - 18:30 企業紹介（角岡氏）	19:45 - 20:15 ネットワーキング
18:30 - 19:30 メイン講演（小久保氏）	20:15 終了



■電車でお越しの場合
京急川崎駅から京急大師線
「小島新田」駅下車徒歩約12分

■バスでお越しの場合
JR川崎駅前東口バスターミナルより
16番のりば「川03浮島バスターミナル」
行 / 20番のりば「急行快速浮島橋」行
⇒「キングスカイフロント入口」下車
20番のりば「川02キングスカイフロント東」行
⇒「殿町」下車

産業道路駅前バス停より
（京急産業道路駅より道渡る）
「快速産01浮島バスターミナル」
「急行JXTGエネルギー浮島前」
⇒「キングスカイフロント入口」下車